

浜松文芸館だより

No.77

いざない

公益財団法人 浜松市文化振興財団

発行 浜松文芸館(文責:伊熊)

令和5年 夏

特別収蔵展 没後30年

7月1日～10月15日

「藤枝静男が遺したもの」開催中

特別収蔵展 没後30年 作品・思い出・業績…

藤枝静男が遺したもの

眼科医 勝見次郎は東田町に
菅原眼科を開院
多くの患者の治療に…

作家 藤枝静男は浜松から
数々の小説を世に…

わたしの住んでいる東海の中都市は市役所と
税務署の頭のすぐ上の丘にコンクリート製の小さな
城ができていて、橋下には海。

電話予約から受付窓口:
藤枝静男の孫 安達万葉子さん

1千葉区大船
1診察室

令和5年
期日 7月1日(土)～10月15日(日)

時間 午前9時～午後5時

会場 浜松文芸館 展示室(クリエート浜松5階)

主催 浜松市 (公財)浜松市文化振興財団

入場無料 7/24(日)・8/28(日)・9/25(日)は休館

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

●約松原の徒歩10分 浜州鉄道「浜州駅」東側
徒歩1分「浜州駅南口」(徒歩)下車
●バス10分 浜松市バス「浜州駅」下車
●バス10分 浜松市バス「浜州駅」下車
●バス10分 浜松市バス「浜州駅」下車
●バス10分 浜松市バス「浜州駅」下車

浜松文芸館
〒430-0916 浜松市中区早馬町2番地の1
電話・FAX 053-453-3933

芥川賞候補に三作、そして谷崎潤一郎賞、野田文芸賞...など、数多くの文学賞に輝く作家「藤枝静男」は、浜松を拠点に中央文壇に作品を発表し続けました。

一方、東田町で菅原眼科の医師として多くの患者の治療に取り組みました。そして、『浜松市民文芸』の創立時からの選者を務め、地元の文化誌、『浜松百撰』に80作以上の随筆を執筆し続けるなど、浜松の市民文化向上に尽力しました。

今回、作家であり眼科医だった二刀流の活躍を、家族や市民の思い出・エピソードを加え、紹介しています。

- 会場では、作家の藤枝静男、眼科医勝見次郎との思い出をもつ人々の声を募集しています。
- 当館に寄贈された著作本を直接1頁1頁、閲覧できるミニコーナーを設けました。
- 藤枝静男(本名勝見次郎)がくらしした昭和の町を復刻地図で振り返ります。

その他、当館の朗読入門・朗読書講座の講師を務める堤腰和余先生による藤枝静男作品の朗読CDを聞くミニコーナーも設けました。ぜひ特別収蔵展にお出かけください。

お知らせ:『浜松市民文芸』69集の応募要項が出来上がりました。図書館や協働センターなどにも配布しました。今年から応募用紙の形式が一部変わりましたので留意願います。